

授業科目	ビジネスと法					単位	2	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21303J	
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-2 DP5-2			
担当教員	高野 雄史							
授業概要	ビジネスは契約で成り立っているといっても過言ではありません。そして、契約に関するルールは多岐にわたります。このルールを知ることは、ビジネスの世界を生き抜くために必要不可欠と言えます。本講義では、契約の基本ルールを学び、ビジネスにおける法的センスを養成することを目的とします。まず、一般法である民法の基本知識から学ぶことからスタートします。また、ビジネスの世界では、消費者と事業者の間で契約がされており、消費者契約に関するルールを知ることが重要です。そこで、消費者契約法、特定商取引法、割賦販売法、製造物責任法などの「消費者法」を扱います。そして、ビジネスでは、特許や商標、著作権などの知的財産が注目を集めていることから、知的財産法についても扱います。							
学生が達成すべき行動目標	1. 法学および契約の基礎を理解し、説明することができる。 2. 消費者法の基礎を理解し、説明することができる。 3. 知的財産制度の基礎を理解し、説明することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	15	85	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	0	5	20				25	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)	0	5	20				25	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	0	5	45				50	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ビジネスに関する法制度の基本的な知識を理解し、様々な社会問題を考える際に応用することができる。契約の法的しくみについて理解して、新聞等の資料を読み解くことができる。				ビジネスに関する法制度の基本的な知識を修得して、様々な社会問題を考えることができる。契約の法的しくみについて理解して、新聞等の資料を読むことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:ガイダンス(高野雄史) 本講義の進め方を説明し、法の役割について解説する。			講義 小テスト		復習:該当部分の復習		60

2	テーマ:私法入門1(高野雄史) 六法を概略して説明し、民法の構成について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
3	テーマ:私法入門2(高野雄史) 財産法のしくみ(売買契約、事務管理、不当利得、不法行為)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
4	テーマ:契約法1(高野雄史) 契約の成立(人、意思能力、行為能力、法律行為、申込と承諾)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
5	テーマ:契約法2(高野雄史) 契約の効力(債務不履行、危険負担、瑕疵担保責任)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
6	テーマ:契約法3(高野雄史) 契約の終了・履行の確保(債権の消滅原因、人的担保・物的担保)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
7	テーマ:消費者契約法1(高野雄史) 消費者契約法の概要(1条～3条、消費者団体訴訟)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
8	テーマ:消費者契約法2(高野雄史) 消費者取消権(4条～7条)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
9	テーマ:消費者契約法3(高野雄史) 不当条項規制(8条～10条)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
10	テーマ:特定商取引法1(高野雄史) 特商法のしくみ(対象となる取引類型)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
11	テーマ:特定商取引法2(高野雄史) 特商法のしくみ(取引類型ごとの特徴)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
12	テーマ:割賦販売法(高野雄史) クレジットを利用した契約のしくみについて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
13	テーマ:製造物責任法(高野雄史) 製品トラブルに関する法的問題について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
14	テーマ:知的財産法1(高野雄史) 知的財産法(特許法、実用新案法、意匠法、商標法、著作権法、不正競争防止法)の基本的制度について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
15	テーマ:知的財産法2(高野雄史) 具体的な事例を用いて知的財産法(とくに商標法、著作権法)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高等学校までの社会科等の基礎知識およびニュース・新聞等の時事問題への関心が必要です。			
テキスト	指定はありません。必要に応じてプリント配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：米倉明『プレップ民法 <第 5 版>』弘文堂 1,700 円＋税 参考図書：中田邦博、鹿野菜穂子編『基本講義 消費者法[第 4 版]』日本評論社 3,080 円 その他、講義内で随時紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業中に取り扱った内容について整理・復習するだけでなく、普段の生活において、ルールや法の存在に気付いて、なぜそのようなルールがあるのか考えてみてください。授業で扱った内容と関連付けることができれば、授業外の課題に取り組んだことになります。			
達成度評価に関するコメント	試験および小テストの内容については、授業の中で指示・説明をします。			

